

シトロエン C3 WRC とセバスチャン・ローブが歴史的な勝利を記録

2018年の世界ラリー選手権(WRC)にC3 WRCで参戦するシトロエン・レーシングは、10月25日～28日にかけて開催された第12戦スペインに参戦し、セバスチャン・ローブ/ダニエル・エレナ組が2013年以来となる勝利を飾りました。ドラマの連続となったラリーの末に、通算79勝という偉大な成果を挙げたローブはシトロエン・トタル・アブダビ WRTに勝利の流れを呼び戻し、今回もチームは決してあきらめないという決意の強さをみせつけました。

セバスチャン・ローブが、ラリー最終のポディウムで後方宙返りを披露し勝利の喜びを表したのは、2004年のツール・ド・コルスで自身初の世界チャンピオンを祝った時以来です。最後のWRCフル参戦から6年、元体操選手であるローブは、歴史に残る勝利を決めて、この大技を再び披露しました。



ラリーの展開

スペインでは8年連続(2005年～2012年)で勝利を飾ってきたローブでしたが、このラリーに参戦するのは2012年以來のこと。今季こまでを振り返ると、第3戦メキシコで3度のSSベストタイムを獲得して一時はラリーをリード。さらに第4戦ツール・ド・コルスでもベストタイムを3回マークしており、そのスピードが健在であることを見せていました。固い絆で結ばれているコ・ドライバー、ダニエル・エレナの完璧なアシストもあり、9連覇王者のローブは、全盛期を彷彿とさせる強さを見せました。チームとともにC3 WRCのファインチューニングに取り組み、コンディションに対する比類なき対応力を発揮。グラベルでの初日は総合4番手で終わりましたが、3番手とはわずか0.5秒差、2番手とも3.4秒しか離れていませんでした。一方チームメイトのクレイグ・ブリーンは、一時はローブに0.7秒差の総合5番手と奮闘していましたが、スピンもあり、この日は総合8番手で終わっていました。

ウェットコンディションとなった土曜日、ローブは午前のループで濡れた路面の感触を取り戻すと、SS12(21.26km)ではベストタイムを獲得し、総合3番手に浮上します。この時点で、総合2番手とは3.3秒差、首位とは8.0秒という僅差でした。対してブリーンはこの日もスピンを2回喫し、総合9番手に後退していました。

最終日はポディウムの最後の位置を巡っての争いとなっていましたが、シトロエン・トタル・アブダビ WRT はここで会心の一撃を繰り出しました。道がドライになっていくと読み切ったチームとローブは、ただひとりハードのドライタイヤ4本を装着する決断を下したのです。これでベストタイムを2度獲得したローブは、2番手に7.1秒の差をつけて総合首位に浮上したのです。一瞬、ヒヤリとする場面もありましたが、ローブはフィニッシュまでリードを守り切り、最後の総合優勝(2013年アルゼンチン)から5年を経て、WRC79勝目を飾りました。この見事なパフォーマンスは、シトロエン・レーシングに今シーズン初、そしてWRCでの通算99勝目をもたらしました。一方、クレイグ・ブリーンは9位でフィニッシュ、ハリ・アル-カシミはグラベルでペースを上げた後、ターマックでの走りを学び続けながら、今季最後のWRC参戦を21位で完走しました。



チームコメント

■セバスチャン・ローブ

「最後の SS で、画面上で自分が勝ったと表示されているのを見た時は、まさに信じられない気分でした！ 久しぶりの参戦ながらペースをつかむことができ、本当に良かったです。自分がラリーから離れていた間も、周囲は第一線を走り続けてきたドライバーです。今回も一瞬も気を緩めずハードにプッシュしていました。金曜日のグラベル路面では感覚を取り戻すのに必死でしたし、昨日のウエットターマックでも同様でした。最終日の午前中はタイヤの選択が当たり、スピードを発揮することができました。最後から 2 本目の SS ではミスもありましたが、そのまま勢いを維持することができました。これほどラリーがうまくいき、自分の中でも最高に素晴らしい勝利と言いたいほどです。チームのためにも、これほど満足のいくリザルトを決めることができ、うれしいです」


■クレイグ・ブリーン

「自分たちにとっては、厳しい週末になりました。特にグラベルなどでは、いい速さを出せた時もあったのですが、スピンでかなりタイムをロスしてしまいました。最終日は失うものは何もなくだったので、走りを楽しみました。最終戦のオーストラリアでは、最高の結末を心に描いて臨もうと思います」


■ハリ・アル-カシミ

「不安定な天気ということもあり、簡単にはいかないラリーでした。グラベル、ターマックと、徐々に自分なりに成長できましたが、土曜日のウエットターマックではあまり余裕が持てませんでした。でも、最終日になる頃には、もう少し自信を持って臨むことができたと思います」

世界ラリー選手権(WRC) 第12戦スペイン 最終結果

1.	セバスチャン・ローブ / ダニエル・エレナ 	シトロエン C3 WRC	3:12:08.0
2.	セバスチャン・オジェ / ジュリアン・イングラシア	フォード・フィエスタ WRC	+2.9
3.	エルフィン・エバンス / ダニエル・バリット	フォード・フィエスタ WRC	+16.5
4.	ティエリー・ヌービル / ニコラ・ジルスール	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	+17.0
5.	ダニ・ソルド / カルロス・デル・バリオ	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	+18.6
6.	オット・タナク / マルティン・ヤルベオヤ	トヨタ・ヤリス WRC	+1:03.9
7.	エサペッカ・ラッピ / ヤンネ・フェルム	トヨタ・ヤリス WRC	+1:16.6
8.	ヤリ-マティ・ラトバラ / ミーカ・アンティラ	トヨタ・ヤリス WRC	+1:26.4
9.	クレイグ・ブリーン / スコット・マーティン 	シトロエン C3 WRC	+2:07.0
10.	アンドレアス・ミケルセン / アンデルス・ヤーゲル	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	+2:48.2
21.	ハリ・アル-カシミ / クリス・パターソン 	シトロエン C3 WRC	+21:28.6

WRC マニファクチャラーズ選手権 ポイントスタンディングス

1.	トヨタ・ガズーレーシング・ワールドラリーチーム	331
2.	ヒュンダイ・シェル・モビス・ワールドラリーチーム	319
3.	M スポーツ・フォード・ワールドラリーチーム	306
4.	シトロエン・トタル・アブダビ・ワールドラリーチーム 	216